

就労支援リーフ

1

診断時

これからの治療と仕事について

血液疾患の診断を受け、これから治療をはじめの方、また治療中の方を対象として、これまで携わられたお仕事（就労）に関する対応や経済的な支援制度について検討するきっかけとしていただく資料です

診断されたら…

誰でも不安になります



病気のこと、
治療内容や副作用のこと、
家族のこと、
仕事のこと、お金のこと…

「病気のこと以外は相談できないのでは…」と
思われる必要はありません



- 治療中や治療後の患者さんのお仕事や経済面のことも、治療担当チームにとって大事なことです
- 院内の担当部署がご相談をお受けしますので、遠慮なく担当医や看護師へまずはお声がけください



担当医や移植コーディネーター、看護師に確認しておくこと

病名

治療内容

治療期間の目安

入院が必要な治療であれば
入院期間の目安

外来治療であれば
どれくらいの頻度で通院が必要か

外来治療の場合、
自宅療養が必要かどうか

費用、がん保険や医療保険が
使えるかどうか



ひとりひとりに必要なサポートは異なります
裏面の情報も参照していただき、
一緒に考えていきましょう

医療機関の相談窓口からのサポート

- 地域のがん診療連携拠点病院には「**がん相談支援センター**」が設置されています
※「がん相談支援センター」の名称は施設によって異なります
- 「がん相談支援センター」は、**その病院にかかっていない患者さんにもご利用いただけます**
- 就労支援専門部署がない医療機関でも、**ソーシャルワーカーをはじめとした担当者がご相談をお受けします**ので、担当医や看護師にご確認ください



職場からのサポート

- 職場の責任者や上司、人事部、産業医などと**情報を共有**しましょう
- 病気休暇などの支援制度について**社内の規則を確認し、活用**しましょう
- 職場の制度を利用する際に、**医師の診断書が必要な場合**もあるので確認し、担当医療者へ伝えましょう



一般的な経済的支援制度

※適応となる制度は個人の状況によって異なります

- 高額療養費制度
- 傷病(しょうびょう)手当金
- 生活福祉資金貸付制度 など



- 診断を受けた時点で治療が始まる前に、ご自身の判断で退職してしまった患者さんも少なくないという報告もあります
- 退職をせずに休職をして治療を受ける*という選択肢もありますので、まずは職場への伝え方を含め、**今後のお仕事について一緒に考えましょう** ※雇用形態や職種(お仕事の内容)で対応が異なる場合があります



ひとこと
メモ

